

## 学生がつくる学生支援サイト

静岡理工科大(袋井市)の学生らが、情報サービスのシーポイント(浜松市中区)と産学連携し、学生生活を支援するインターネットの会員制交流サイト(SNS)「しずのす」の運用を始めた。来年4月からは就職活動の支援サービスへと発展させ、地元の中小企業と学生が出会う場にするを目指す。

当初は同大の学生だけが利用すると想定し、これまでなら学校へ行かないと確認できなかった学内掲示板をいつでも閲覧できるようにした。スクールバスの時刻表を

確かめたり、登録者間でメッセージをやりとりする機能も持たせた。現時点で同大総合情報学部の3年生を中心に約150人が登録した。

サイトの開発は同学部の授業の一環で取り組んだ。菅沼義昇教授が「短期的なインターンシップ(就業体験)では学べない長期的な仕事を学生に体験をさせたい」と望み、シーポイントに協力を求めた。同社も地元の特化したサービスを学生目線で開発できることに利点を見だし、大手就職サイトとは

### 静岡理工科大シーポイント連携



会員制交流サイト「しずのす」の表示画面と、学生時代に開発に携わったシーポイントの村上沙織さん(22)＝浜松市中区で

違ったサービスになると期待して、学生らを支援することにした。

学生らは、サイトの運用にこぎつけるまでに、サービスを利用す

る人の市場規模を調査したり、中小企業の経営者に求人への要望を聞いた。

今後は、就職活動する同大4年生らの情報を発信する一方、地元中小企業の人事担当者の声も聞き取る。将来的には他県の学生も使えるサイトにする考えだ。

学生時代にサイトの開発に参加し、4月からはシーポイントに入社した村上沙織さん(22)は「サイトの利用者を増やすといった実践経験は企業の支援がなければ体験できなかった。学生に役立つサービスに育てたい」と意気込む。

## 来春、就職活動利用を目指す

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています